

中期プラン(素案)への意見等に対する市の考え方(施策番号順)

施策No	会議名	区分	要旨	回答	担当課
1 1 1	市民説明会(大迫)	意見	小さな農家の経営が厳しくなっており、国の政策である中山間交付金はなくせない。続けてもらうべきである。	平成26年6月13日に農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律が成立し、中山間地域等直接支払交付金についても継続されることとなっています。	農林部 農政課
1 1 1	地域協議会(石鳥谷)	意見	農業の指標について、担い手を育てるということだが、この指標だけでは若い人が農業をやろうとは思わないのではないかと。農業分野には発想の転換が必要。若い人は農業をやりたいと思うような「夢」がないと担い手にはなりえないと思う。計画を実際に進めるときには考えてもらいたい。	地域の担い手となる農業者の農地集積による規模拡大と効率化を推進するとともに、関係機関と協力しながら、新規就農者の確保にも力を入れてまいります。	農林部 農政課
1 1 1	市民説明会(東和)	意見	平地と中山間地域を一緒にした議論では問題は解決しない。平地では農協での農地の集積などの動きで対応しようとしているが、中山間地域では農業をすること自体ができなくなる。農業政策を進める上で、中山間地域と平地を分けてそれぞれの取り組みを検討してもらいたい。	中山間地域(条件不利地域)では農業が地域づくりにも不可欠であり、日本型直接支払制度等の国の施策とも連動しながら、中山間地等の地域の特性を踏まえた農業振興に取り組んでいくとともに、市内全域の農業生産の振興を図ります。	農林部 農政課
1 1 1	市民説明会(東和)	意見	農業における収益性と安全性は別物として考える方が結果的に所得の向上に結びつくと考え。例えば中山間地域では良い田や農地に絞って残し、安全な農産物づくりに特化することなどが考えられる。安全を求める人は高くても買ってくれるので、都市消費者に向けた部分としても有効であり、結果的に収益性の向上に結びつくのではないかと。	安心、安全な農畜産物の生産については、現在も市内全域で取り組んでいるところであり、農業団体とも連携し需要状況等を勘案しながら、有利販売に結び付くような生産の取り組みを進めてまいります。	農林部 農政課
1 1 1 1 5 2	市民説明会(花巻)	意見	極論になるが、市民一人ひとりの財布の中身を増やすことが重要である。そういう意味では、本市の基幹産業である農業を競争力のあるものにしなければならない。生産した農作物を加工し販売する6次産業化を進めるべきである。	農業の競争力強化、生産者の収益拡大を図るため、農地集積による規模拡大と効率化を推進する支援を行うとともに、花巻産の農畜産物を活用した新たな付加価値を生み出すビジネス創出を支援してまいります。	農林部 農政課 商工観光部 商工労政課
1 1 2	地域自治推進委員会(花巻)	意見	成果指標に示すように、農業所得を向上させるためには農地集積が必要であるが、農地を任された農業法人が最後まで責任を持てるのかどうか懸念される。また、笹間地区においては、集積が進んでいない現状である	平成26年度より農地中間管理事業が開始され、担い手への農地集積をより一層進めており、笹間地区に限らず、人・農地プランの話し合いに基づいた農地集積を推進しています。なお、関係団体と協力し農地の利用権設定を受けた農業法人等の担い手が継続的に農業経営を行えるよう、各種研修会の実施や、専門知識を有するトータルアドバイザーによる経営相談などの支援を継続してまいります。 (中期修正) 1-1-2施策の方向(2)に農地中間管理事業の活用推進を追記	農林部 農政課

中期プラン(素案)への意見等に対する市の考え方(施策番号順)

施策No	会議名	区分	要旨	回答	担当課
1 1 2	地域自治推進委員会(花巻)	意見	農業法人への農地集積には反対の立場の意見として、やはり法人よりも強い一軒の農家のほうが良い。地域を盛り上げ、30年50年後先のために、強い意志を持った若者を育てていかなければならない。	農地の貸し手と借り手のマッチング支援の中で、地域の話し合いによる担い手(法人、個人を問わず)への集積を推進するとともに、担い手・新規就農者の育成を図ってまいります。	農林部 農政課
1 1 4	地域協議会(大迫)	質問	間伐材を利用した発電施設ができるという噂があるがどうなっているか。当初は沿岸部の予定であったが内陸になったとのことだが。	関係団体(花北地域木材安定供給促進会議、県南地域森林組合木材安定協議会)と連携を図り、現在建設中の北上の合板工場などへの原料の供給のため、情報共有、支援、助言を行ってまいります。	農林部 農村林務課
1 1 4	市民説明会(大迫)	意見	町には多くの森林があるが、高齢化により森林に入らない人が増え、木材が眠っている状態。整備された林道があれば、機械で入れるのだが。	低コストな林業、効率的な路網整備による施業集約化の推進を図るため、森林経営計画の作成を継続して支援します。また、県に対し林業振興支援策の拡充を要望したところであり、県でも新規支援策を講じていく方針を示しています。	農林部 農村林務課
1 1 4	市民説明会(大迫)	意見	ここ何年かで山の状況が変わってくるとみており、山に入る力がなくなってくると予想される。やはり、お金になれば山に入ると思うが、手入れがされない森林が増え、土砂災害等が起こりやすくなっている。	森林経営計画の作成支援のほか、森林資源を有効に活用するため、関係団体と生産、加工、販売を一体的に取り組む体制づくりを進めています。また、県に対し林業振興支援策の拡充を要望したところであり、県でも新規支援策を講じていく方針を示しています。	農林部 農村林務課
1 1 4	市民説明会(大迫)	意見	先ほど間伐材の燃料化の話が出たが、近年は、しいたけのほだ木の代わりにまきを作っているところもあるようだ。	福島第一原発事故の影響で、ほだ木としての原木利用が困難になっているとの理由から、薪利用に転換しているところもあると伺っており、燃料材をはじめ、木材の多様な利用性について普及啓発を図り、木材の有効活用を支援してまいります。 (中期修正) 1-1-4施策の方向(2)に搬出間伐材の建築用材や燃料への有効活用への支援を追記	農林部 農村林務課
1 1 5	地域協議会(石鳥谷)	質問	主要事業の森林環境保全事業については委託事業か。松くい虫の処理については、森林の所有者任せだと聞いているが、処理しても松くい虫は飛散するので、どうしようもない。この事業についてはどう理解すれば良いか。	松くい虫被害の北上により市内は被害が徐々に拡大している状況にありますが、現在は、被害拡大防止を目的とする区域と守るべき森林の周辺の松くい虫駆除を行う区域を定めて計画的な対応を行っています。また、被害木の倒木による道路封鎖、停電、家屋損壊の恐れのある箇所については、市で対応しています。	農林部 農村林務課
1 4 1	地域自治推進委員会(花巻)	意見	観光客の現状として、外国人観光客が増加し、インバウンドがアウトバウンドを逆転している状況。インバウンド対策を追加してほしい。	インバウンド対策については、観光情報の発信の中で、国外観光キャンペーンへの参加や外国語パンフレットによるPRなどに取り組むこととしているほか、県や県観光協会、他市町村などと連携した広域観光ルートを設定しての受け入れ態勢の整備を図ってまいります。	商工観光部 観光課

中期プラン(素案)への意見等に対する市の考え方(施策番号順)

施策No	会議名	区分	要旨	回答	担当課
1 4 2	地域自治推進委員会(花巻)	意見	外国人は自らスマートフォンで検索して旅行するFIT(個人型旅行者)が主流であるため、その対応として、宿泊施設に対する補助を含めて観光施設のWi-Fi環境を整備してはどうか。	現在、利用が見込まれる市の公共施設にWi-Fi環境の整備を進めておりますので、利用状況を確認しながら対応を検討いたします。	商工観光部 観光課
1 4 2	市民説明会(石鳥谷)	意見	田んぼアートのようなものを観光資源として活用できるようにすることが必要ではないか。	田んぼアートは賢治イベントカレンダーのなかでも紹介していますが、観光資源となる素材については今後もパンフレット等への掲載等による情報発信に努めてまいります。	商工観光部 観光課
1 4 3	地域自治推進委員会(花巻)	意見	現在、遠野などと連携してSLを走らせているが、観光客に対する広域的な二次交通の整備は重要である。	県内各地との連携による広域観光を推進するうえで、二次交通は重要であると認識していることから、釜石線沿線活性化委員会などでの検討や、現在の観光ルート整備事業の見直しを図るなど対応を進めてまいります。	商工観光部 観光課
1 4 4	地域自治推進委員会(花巻)	意見	施策「おもてなしの向上」にも、インバウンド対策を入れるべきである。	おもてなしの向上にある施策の方向は国内旅行者のみを対象としているものではなく、国外旅行者への対応も含まれています。特に観光関連従業員を対象としたおもてなし向上支援は、(一社)花巻観光協会が力を入れてインバウンド対策も行うこととしています。	商工観光部 観光課
1 5 3	市民説明会(花巻)	意見	企業誘致は重要であるが、低賃金の求人が増えても収入の安定がない。非正規雇用が30%を超え、月収15万、年収200万円の人が増加している。	雇用形態については個々の企業の経営判断による場所ですが、求職者の選択肢を増やすため、工業団地の拡充を図るなど企業誘致を進めてまいります。	商工観光部 商工労政課
1 5 3	市民説明会(石鳥谷)	質問	市長選挙の際に企業誘致を進めるとしていたが、現時点でどの程度進んでいるのか。	現在複数の企業との誘致折衝を続けています。また、工業団地整備に関しては、整備基本計画の策定を専門業者に発注し、年度内に整備概要を定めることとしています。 ほか、9月議会において第一工業団地内の用地取得費の補正予算を議決いただいたところであり、紹介できる物件として確保する予定です。	商工観光部 商工労政課 企業誘致推進室
1 5 3	市民説明会(石鳥谷)	意見	第二工業団地にはまだ空きがあるのではないかと聞いたことがある。北上市では工業用水を引いているということだが、水道関係が統合したのであれば、花巻でも工業用水を引くことはできるのではないかと。	第二工業団地は現在引き合いがあり、立地が決まれば概ね空きはなくなるという状況にあります。 第二工業団地の水については、現在生活用水を供給しているところですが、工業用水について、工業用水事業の事業主体は県であり、市や水道企業団の対応はできません。新たな工業用水の整備については「具体的な大規模企業の誘致」や「採算を確実に担保できる水需要の確保」が絶対条件とされており、現状ではあまり現実的とは言えない状況にあります。	商工観光部 商工労政課 企業誘致推進室

中期プラン(素案)への意見等に対する市の考え方(施策番号順)

施策No	会議名	区分	要旨	回答	担当課
1 5 3	市民説明会(石鳥谷)	意見	農業だけでは食べていけない人が増えており、企業誘致のための団地造成ということになれば協力する人も多いのではないかと思います。 ただ、農地を減らしても良いという考え方でもあり、農業と工業のどちらを優先するかということはある。企業誘致による工業の拡大を進めれば雇用拡大にもあり、人口減少対策にもなると思う。	新しい工業団地整備候補地については、企業が求める立地環境にあることが大前提となります。今後他の上位計画や規制等を考慮に入れながら検討を進めてまいります。	商工観光部 商工労政課 企業誘致推進室
1 5 3	来庁者 (秘書政策課受付)	意見	企業誘致の推進の◇施策の方向中「立地環境の整備」という表記では何のことなのか分かりづらいし、記載の前項までの5項目全てに含まれる内容・表現と考える。「流通・工業団地の新規整備」と表現してはどうか。	「立地環境の整備」とは、流通・工業団地の新規整備のほか、既存工業団地等の良好な環境を維持するため、草刈り等の必要な整備を定期的に行うとの意味です。 なお、「流通・工業団地の新規整備」については、主要事業として工業団地整備事業を掲載しております。	商工観光部 商工労政課
1 5 3	来庁者 (秘書政策課受付)	意見	同じく企業誘致の推進の◇主要事業「企業誘致推進事業」について、種々検討するとあるが、検討した結果を示しても良い時期かと考える。いつまでに検討が完了するのか、その期限を明示すべきではないか。また、検討中の場合であっても中途案で良いので示してほしい。	中期プランは、「目的年次までに取り組む施策の基本的な方向性や数値目標、主要事業を示すもの」であり、個別事項の期限、中途案等を盛り込む性質のものではありません。	商工観光部 商工労政課
1 5 3	来庁者 (秘書政策課受付)	意見	同じく企業誘致の推進の◇主要事業「工業団地整備事業」について、流通・工業団地の拡充を図るとあるが、現団地の分譲の余力はどれくらいか。事業概要において、「現団地の分譲余力は〇年分しかないので、流通・工業団地の拡充を図る」との文言にしてはいかかが。	企業の分譲面積は、事業規模、業種等により様々であり、「〇年分」という表現は適切でないと考えます。そこで、成果指標で「新規誘致企業数」を「5社」として表記しております。	商工観光部 商工労政課
1 6 1	地域協議会(石鳥谷)	意見	各分野に渡って細かい計画が策定されているが、多方面にわたるため一つ一つの印象は薄く感じる。 市政を考える中で大事なことは若者が喜んで仕事につき、安定した収入を得ること。人口減少対策にもなるため、この取り組みを重点的にやってほしい。 3年、5年というスパンでお金を使うことでもあるため、メリハリのある取り組みを求める。	人口減少対策として雇用対策の充実、市としても重要と認識していることから、中期プランの計画期間中も事業の構築に努めてまいります。	商工観光部 商工労政課

中期プラン(素案)への意見等に対する市の考え方(施策番号順)

施策No	会議名	区分	要旨	回答	担当課
2 1 1	郵送 (東和地区市民説明会参加者、秘書政策課受付)	意見	エネルギーの自給についての記載がないのでは。自給することで経費削減にもなる。マグネシウム燃料電池を太陽光でリサイクルするといったマグネシウム発電の研究がされているがこれは個人的に良いと思っている。	太陽光発電等の再生可能エネルギーを普及促進することによって、エネルギーの売電のほか、自家消費として賄われることも想定しているところです。マグネシウム燃料電池の研究により実用化されつつあるようですが、現在、別に策定中の花巻市エネルギービジョンで先進的事例として紹介することも有効であると考えております。	市民生活部 生活環境課
2 2 1	市民説明会(石鳥谷)	意見	東京オリンピックに合わせた電柱の地中化を進めることを政府が言っているが、花巻市でも生活道路の電柱地中化はできないか。また、水道管の老朽化が進んでいるところについては、地中化と併せて改修工事をしたほうが効率的と思う。	電線地中化は事業費が多額であるほか、電力会社の協力が得られる区間でしか実施できません。今の計画では、館坂に繋がる市役所～県合同庁舎・総合花巻病院前までの間を都市計画道路拡張に合わせて実施する予定のみとなっています。	建設部 道路課
2 2 1	市民説明会(石鳥谷)	意見	道の駅を拡張することはできないか。隣接する空き地を駐車場として活用することができるのではないかな。	既存の道の駅の拡張は、現段階では考えていません。なお、西南地域での新設について、県に対し要望しているところです。	建設部 道路課
2 2 1	来庁者 (秘書政策課受付)	質問	重点戦略の人口減少対策に「道路環境の充実」を掲げているが、人口減少対策にどの程度寄与するものか、その割合は。	寄与の割合は示しかねますが、一定の道路整備が図られない場合、人口減少が一層加速する地域があるものと懸念されます。	建設部 道路課
2 2 1	郵送 (石鳥谷地区市民説明会参加者、秘書政策課受付)	質問	都市計画道路白幡薬師堂線について、現在、駅の北側で道路がストップしており迂回路を通行するなど不便を感じて20年ぐらいになる。これまで本路線の廃止の案は示されていたが、今回の市民説明会時に廃止を決定したと発言され、そのような説明は聞いておらず、今後も迂回路を通行しろということなのか。生活道路でもあるので再考を要望する。	都市計画はまだ廃止していませんが、計画廃止を検討している一つです。代替措置として、市道改良により北側の既存市道に接続することとしており、今年度は測量設計を進めます。駅前から県道石鳥谷花巻温泉線までの区間についても歩道を整備することとし、今年度は用地の測量と買収を実施します。	建設部 都市政策課
2 2 2	来庁者 (秘書政策課受付)	質問	同じく、重点戦略の人口減少対策に「公共交通の確保」を掲げているが、人口減少対策にどの程度寄与するものか、その割合は。	寄与の割合は示しかねますが、高齢化が進行するなかでバスなど一定の公共交通の確保が図られない場合、人口減少が一層加速する地域があるものと懸念されます。	建設部 都市政策課
2 2 3	市民説明会(石鳥谷)	意見	駅前の景観を良くすることや再開発はできないか。	市による宅地開発は計画していませんが、石鳥谷駅周辺は宅地化を誘導する地域に位置付けていきます。	建設部 都市政策課

中期プラン(素案)への意見等に対する市の考え方(施策番号順)

施策No	会議名	区分	要旨	回答	担当課
2 2 3	市民説明会(石鳥谷)	意見	人口減少対策には家の確保が必要。八幡地区もマックスパリュができるなど状況は変わっている。	市による宅地開発は計画していませんが、住居系の用途地域を指定している地域については、宅地化を誘導する地域への位置づけを検討します。	建設部 都市政策課
2 2 3	来庁者 (秘書政策課受付)	質問	同じく、重点戦略の人口減少対策の住宅の安定確保に「市営住宅の整備・維持管理」を掲げているが、人口減少対策にどの程度寄与するものか、その度合いは。	寄与の度合いは示しかねますが、市営住宅を廃止した場合、人口減少が一層加速する地域があるものと懸念されます。特に、大迫・石鳥谷・東和地域は、市営住宅に代わる民間賃貸住宅が乏しい状況です。	建設部 都市政策課
2 2 3	郵送 (石鳥谷地区市民説明会参加者、秘書政策課受付)	意見	市民説明会の際に、石鳥谷地区については矢巾町・紫波町と発展の波が波及してその流れで発展していく方向であると聞いたが、他方本願で花巻市として石鳥谷地区にてこ入れをしないということなのか疑問に感じた。再検討を要望する。	石鳥谷駅周辺は、国道4号線・東北本線沿いに位置し、盛岡等への通勤・通学にも便利なことから、住宅地として誘導を図ってまいります。	建設部 都市政策課
2 2 5	来庁者 (秘書政策課受付)	意見	安全な水の安定的供給の成果指標「給水原価」について、その額を下げることが目標ではないのか。悪くてもH27・H28の目標値はH26の値にするべきである。また、原価が上がるのであれば、最低限給与を引き下げるなど費用縮減の対策を取るべきである。	岩手中部水道企業団では、統合によるスケールメリットを最大限に活用して給水原価の抑制に努めておるところですが、老朽化した水道施設の大規模な更新時期を迎え、更新による減価償却費の上昇等による影響が大きく、給水原価を下げることはできませんが、引き続き、給水原価の抑制に努め、安全で安心な浄水の安定的な供給を進めて参りたいと伺っております。	市民生活部 生活環境課
2 3 3	来庁者 (秘書政策課受付)	意見	消防力の強化の◇施策の方向の(2)地域の消防力の向上中「消防団員の確保」とあるが、市の消防団員報酬が地方交付税基準より低い。出勤手当も同様である。地方交付税基準額である報酬36,500円、手当7,000円/回に引き上げることが団員の確保に繋がるのではないかと考える。また、記載の表現についても「消防団員の確保に向け報酬・活動手当の引上げ」とするべきである。	市町村は条例に基づき、消防団員に対して、その苦勞に報いるための報酬及び出勤した場合の費用弁償として出勤手当を支給しています。地方交付税の消防団への交付金算定基準は、人口10万人ごとを基準としていることから、各市町村において団員報酬額と交付税算定額に差異が生じることになります。現在、当市における消防団員報酬額は団員が22,500円、団長が157,000円、出勤手当は1,800円となっており、全国平均とほぼ変わらない額であることから、現段階で条例改正は考えていません。しかしながら、今後においても近隣市町村の動向を注視してまいります。	消防本部 総務課
2 3 3	市民説明会(商工会議所青年部・青年会議所・農協花巻地域青年部)	意見	消防団員の確保について、充足率が悪いようだが、団員が増えない理由として、特に農業者・農家にとって繁忙期である5、6月頃に消防団行事が多いことも考えられる。自分の周りにも繁忙期に農作業に従事できないことで入団を断っている者もいる。また、入団を希望しているが職場が市外であることから有事の際に駆け付けするのが難しいからと遠慮している者もたくさんいる。	団員の確保については、消防団が将来にわたり、地域防災力の中核として代替性のない存在であることを市民に周知することが重要であることから、消防演習や消防フェスティバルを開催し訓練の成果を披露することで市民に理解を得ているものと思料します。今後においても、消防団員の募集については、コミュニティFMの活用、ホームページ及び広報誌への掲載、火災予防運動週間中の街頭でのPR活動を実施するとともに、消防団協力事業制度の普及、さらには岩手県消防協会との連携を強化しながら、一層の団員確保に努めてまいります。	消防本部 総務課

中期プラン(素案)への意見等に対する市の考え方(施策番号順)

施策No	会議名	区分	要旨	回答	担当課
2 3 4	総合計画審議会	質問	先日地区で交通事故があったが、病院への搬送に40分かかった結果、助かる命が亡くなった。救急救助体制について、どのように認識しているか。	一部中部病院への搬送はありますが、原則としては直近の医療機関に搬送しています。現在、花巻管内には7台の救急車があり、仮に大迫地区で1台が出動中にもう1台の要請があれば、直近の署所(花巻北消防署・東和分署)から出動する体制となっております。	消防本部 警防課
2 5	地域協議会(石鳥谷)	意見	将来像に記載のある「福祉の充実」について。「慣れ親しんだ地域」ではなく、「住みたい地域」ではないか。出身地にこだわる必要もないのでは。	核家族化が進展し、多様な世代が混在する地域の中で、新たに住み始める人も含めて、地域の住民がお互いに助け合い、支え合う地域づくりを目指していくという視点から、将来像として「慣れ親しんだ地域」としているものであり、「住みたい地域」という概念も含むものであります。	健康福祉部 地域福祉課
2 5 2 5 1 4 2 2	地域協議会(大迫)	意見	ボランティアのあるべき姿が本文に出ていない。ボランティアに関わる人についての取り組みを入れてほしい。	市民や企業に期待される役割として「ボランティア活動への参加」、施策の方向として「ボランティア活動の支援」、「ボランティア団体等が行う公益的活動への支援や情報発信」について挙げております。 なお、花巻市地域福祉計画のなかで、ボランティアセンターを設置する社会福祉協議会との連携や、ボランティア支援について記載しております。	地域福祉課
2 5 1	市民説明会(花巻)	意見	高齢化による限界集落等への対応が見えづらい。厳しい状況を数値で示すなど準備が必要ではないか。	高齢化が進行した地域においても、住み慣れた地域で安心して生活を送ることができるよう、地域内における見守り体制の充実を図るほか、福祉相談に携わる各種機関(団体)と連携し、要支援者等への支援及び各種サービスの提供に努めます。 なお、厳しい状況を数値で示すことはできかねます。	健康福祉部 地域福祉課
2 5 1	地域協議会(大迫)	質問	以前は福祉の分野で「支えあって」という言葉を使っていたが、地域福祉の推進の目指す姿に「助け合って」とある、その理由は。	「支え合い」は福祉の全分野に関わることから、基本政策2-5「福祉の充実」の目指す姿の中で「～共に支え合い～」としております。地域福祉分野におきましては、旧来の地縁・血縁による相互扶助が薄れている中で、地域の見守りの仕組みづくりが重要でありますことから、「～共に助け合って～」の表現としております。	健康福祉部 地域福祉課
2 5 1	地域協議会(大迫)	意見	福祉団体(社協)との連携という言葉が出てこないが、入れてもいいのでは。※地域福祉の推進の施策の方向(1)「民間事業者と連携」という表現に含まれているのかもしれないが。	福祉の各施策を推進するうえで福祉団体との連携は必要不可欠でありますことから、ご意見に基づき修正します。 (中期修正) 施策の方向(2)福祉相談体制の充実 → 福祉関係団体との連携による相談支援体制の充実	健康福祉部 地域福祉課
2 5 1	地域協議会(大迫)	質問	地域福祉の推進の成果指標「身近に相談できる人や機関がある市民の割合」が前年度と比べ低下しているが、増加させることは可能か。	悩みを抱えた市民の相談先として、関係機関が連携した利便性の高い支援体制づくりを進めることにより、成果指標の向上が図られるものと考えております。	健康福祉部 地域福祉課

中期プラン(素案)への意見等に対する市の考え方(施策番号順)

施策No	会議名	区分	要旨	回答	担当課
2 5 2	地域自治推進委員会(花巻)	意見	横浜市ではJAと市が連携して、介護予防に取り組んでいるようである。本市の強みは農業であるため、JAとの連携を記載してほしい。	介護予防拠点施設はつつ長寿館の運営や高齢者の園芸作業などJAとの連携により介護予防事業が行われています。 今後より一層JAと連携して介護予防に取り組んでいきたいと考えますが、JAだけでなく多様な主体との連携による介護予防も求められると考えています。	健康福祉部 長寿福祉課
2 5 2	市民説明会(花巻)	意見	障がい者への施策に加え、手帳をもらっていない高齢者の予備軍も含めて取り組んでほしい。	介護予防の推進を図るため、心身機能の維持向上として、生きがいデイサービスや温泉施設を活用した湯のまちホット交流サービスなどの高齢者福祉サービスを提供していくとともに、介護保険による介護予防教室などに加え、住民主体の介護予防活動の育成・支援やリハビリ専門職の関与の促進など、地域資源を生かした介護予防に取り組んでまいります。	健康福祉部 長寿福祉課
2 6 1	地域自治推進委員会(花巻)	意見	将来像に掲げた「笑顔の花咲く都市」を実現するために、まずは健康が大事であると思うが、本文中に脳卒中(県南ワースト1位)と自殺対策の記載がない。	健康づくり課が行う健康教育相談・食生活改善事業のテーマとして「脱脳卒中」を掲げ、各種事業を行っています。 ご指摘のとおり、脳卒中や自殺対策も大事な課題であるので、本文中の「現状と課題」に記載することとします。また、「施策の方向」についても、一部修正をします。 (中期修正) ◇現状と課題の4つ目の項目の修正および5つ目に項目を追加 ・市民の死亡原因の第1位は「がん」であり、特に大腸がんは、女性の死亡割合が高くなっています。また、死因の第2位は「心疾患」、第3位は「脳血管疾患」となっています。市民のだれもが自分の健康に関心を持ち、これらの生活習慣病の予防・早期発見をしていくことが大切です。 ・毎年数十人の方が自ら命を絶っており、悩みをかかえる市民をサポートしていく必要があります。 ◇施策の方向(1)の2つ目の項目の修正 ・医師会など関係機関と連携した健康相談の実施、相談機関の普及	健康福祉部 健康づくり課
2 6 1	総合計画審議会	質問	脳卒中による死因が県内ワースト1位である現状について、食生活改善推進員協議会としては減塩活動に取り組んでいるが、市の方針は。	市の取り組みとしては、食改協や保健推進委員等との連携で減塩活動や健診の受診を勧めています。 また、今年度から健康診断結果表に生活習慣病の発生危険度を示し注意喚起をはかる内容に改正したところであります。 さらに、健康アップ講座や健康相談で「脱脳卒中」や生活習慣病発生予防について普及啓発を図っています。 しかしながら、すぐに目に見える効果は出ていないため、受診勧奨や減塩の取り組みは継続的に、また、関係機関等と連携して進めてまいります。	健康福祉部 健康づくり課
2 6 3	総合計画審議会	意見	県立病院の統廃合により大迫診療所は現在無床化されているところで、患者数は増加し、他地域の病院を利用している現状である。また、大迫だけの問題ではないが、入院しての治療が受けづらいなど、地域医療体制への不満を感じている。	将来あるべき医療供給体制の姿とその実現のために必要な施策について、地域医療ビジョンとしてまとめ、早急に必要な支援を行っていきます。	健康福祉部 健康づくり課

中期プラン(素案)への意見等に対する市の考え方(施策番号順)

施策No	会議名	区分	要旨	回答	担当課
3 1 1	地域協議会(東和)	意見	子育て支援について、新規事業を展開するまでの期間、現在子育てをしている世帯のことも考えて、試行的でも良いので支援を行ってほしい。	市では、子育て世帯が安心して子どもを育てることができるよう、保育料の軽減などの経済的負担の支援や、子育てに関する相談体制、保育サービスの提供に努めており、今後も時期に関わらず必要な支援を行ってまいります。	教育部 子ども課
3 1 1	総合計画審議会	意見	地域婦人団体協議会では、「命と暮らしとふるさとを守る」というスローガンのもと、子育て支援に取り組んでいるところであるが、会に対して予算的な支援をいただき助かっており、今後も頑張っていきたいと思っている。	子育て支援については、来年度制度が変わる予定であり、現在、制度変更に合わせて子ども・子育て支援計画を作成しています。婦人会の活動には大変感謝しており、今後も地域と一緒に子育て支援を行ってまいります。	教育部 子ども課
3 1 1 3 1 3	地域協議会(東和)	質問	就学前教育の充実について、施策の方向の記載で公立保育所の再編とあるが具体的にどのような状況か。	来年度から始まる子ども・子育て支援新制度に向け計画を作成中であり、児童数の推計等も踏まえて議論していきます。また、保育ニーズに対応して、今後、認定子ども園や公立保育園の民営化等も検討していきます。	教育部 子ども課
3 2 2	地域協議会(東和)	意見	地域が学校を盛り立てていくことについて記載があれば良い。小学校が統合する以前は地域に支えられている学校と感じる機会が多かった。地域の中の学校であるというような施策を展開してほしいと思う。	施策2「豊かな人間性の育成」の中に、「地域体験学習の充実」を掲げており、地域の風土・資源・伝統・人材を活用した体験的な学習の支援を行っています。また、施策4「学校教育の充実」の中に、「家庭・地域との協働による学校運営の推進」を掲げており、家庭・地域・学校が目標(まなびフェスト)を共有し、連携を強化した取り組みを展開したいと考えています。	教育部 小中学校課
3 2 2	地域協議会(東和)	意見	子どもたちが花巻市に誇りを持って育ってほしい。就学や就職で市外特にも首都圏に出っていくのが現状だが、子どもたちが花巻に住み続けたいと思えるような教育をしてほしい。それが人口減少対策だと思う。	施策2「豊かな人間性の育成」の中に、「地域体験学習の充実」を掲げ、推進しています。具体的には、地域の歴史・文化・風土・人材を活用した、体験的な学習活動により、花巻の良さを実感させ、地域社会に対する誇りと愛情を育むよう各学校で教育実践を進めています。	教育部 小中学校課
3 2 3	地域協議会(東和)	質問	市内における不登校児童生徒数やその対策はいかがか。また、義務教育を修了した高校生の場合の対策はどうなるのか。	不登校児童生徒数について、H24は小学生が12人、中学生が46人です。対策としては、生徒支援員の配置や適応指導教室風の子ひろばを設けて支援の充実を図っています。また、高校生については、市で配置している生徒支援員が県教委及び総合教育センターと連携しながら、花巻市内の中学校を卒業し継続して不登校になっている生徒やその保護者に対して、面談及び電話相談等を行っております。	教育部 小中学校課

中期プラン(素案)への意見等に対する市の考え方(施策番号順)

施策No	会議名	区分	要旨	回答	担当課
3 2 4	市民説明会(商工会議所青年部・青年会議所・農協花巻地域青年部)	意見	学校教育について、小学生などの小さい頃から地産地消の勉強をしたり、地元で買い物をする学習などが必要かと考える。そのような機会がないと就職する時に地元に残らずに出てしまったりとそういうところに影響するのではないか。学校教育として授業で地元を学んで知ってもらうような取り組みを取り入れられないものか。	小学校学習指導要領「社会科(3・4年)」に、地域の人々の生産や販売について見学・調査する内容が位置付いており、社会科副読本でも市内の商店をとりあげ、指導の充実を図っています。 中学校学習指導要領「技術・家庭(家庭分野)」には、地域の食材を生かす調理を通して、地域の食文化について学習する内容が位置付いており、花巻では雑穀を食材とした調理等に取り組んでいます。 更に、市独自の事業として、「地域体験型学習事業」を実施し、地域の歴史・文化・風土・人材を活用した体験的な活動を推進しています。	教育部 小中学校課
3 2 2 3 2 4	総合計画審議会	意見	学校教育について、平成17年より、地域の教育を活用する方針が示されたが、学校側の発信が少なく、地域イベントにも協力してやっているという姿勢が感じられる。本来、学校が主体となって行うべきものと思うが、その辺りが本計画には見えない。	施策2「豊かな人間性の育成」の中に、「地域体験学習の充実」を掲げており、地域の風土・資源・伝統・人材を活用した体験的な学習の支援を行っています。 また、施策4「学校教育の充実」の中に、「家庭、地域との協働による学校運営の推進」を掲げており、家庭・地域・学校が目標(まなびフェスト)を共有し、連携を強化した取り組みを展開したいと考えています。更に、各学校からの情報発信を促進していきます。	教育部 小中学校課
3 3 1	地域自治推進委員会(花巻)	意見	生涯学習講座について、単なる趣味で終わらず、学習の成果を地域社会に還元できるよう、指導内容を充実させてほしい。	趣味的な講座については、「きっかけづくり」として有益であると考えているところですが、地域課題の解決に向けて、市民が生涯を通して学び、広い視野を持ち活動していく環境づくりのため、講座の内容について検討し、充実して参ります。	生涯学習部 生涯学習交流課
3 3 2	市民説明会(商工会議所青年部・青年会議所・農協花巻地域青年部)	意見	施策の青少年の社会教育について、現状や課題、施策の方向など全体的に掲載している内容が足りないと感じる。青年会議所での取り組みも参考にさせていただき、記載内容を充実させてはいかかがか。	青少年の社会教育の推進については、花巻市生涯学習振興計画(～27年度)等にも、その位置づけを図りながら、取り組みを進めているところであるが、平成27年度の次期計画(H28以降)の策定作業のなかで、家庭、地域、関係団体等との連携・協働のもと、青少年に対する社会教育の充実を図りたいと考えています。 なお、現在取り組んでいる例としては、花巻市青少年育成市民会議との協働による市内全小学校推薦児童、高校生ボランティアによる「サマーキャンプin戸塚森」の開催や、市主催事業への成人式記念行事実行委員会OB・OGへの参画を通じた、青年層・若者の地域づくりへの関心・意欲の醸成を図っており、各課においても青少年を対象とした事業、活動を行っています。 (中期修正) 3-3-2施策の方向(1)に青少年の社会参加の促進を追記	生涯学習部 生涯学習交流課
3 4 1	市民説明会(石鳥谷)	意見	石鳥谷柔剣道場の屋根が赤くさびたままになっているため、景観が良くない。修繕してほしい。	現地を詳細に確認の上、対応します。	生涯学習部 スポーツ振興課
3 4 3	総合計画審議会	意見	第6章主要事業計画の施策「大規模スポーツ大会の開催」に再来年の国体事業の記載があるが、予算が少ないように感じる。個人的にオリンピックの射撃競技誘致にも関わっているが、予算がないと誘致できない事情もある。財政が厳しい状況であると思うが、もっと予算を充実させてほしい。	今後、リハーサル大会運営経費調査(第2次)や来年度4月に予定されている国体運営経費調査(第3次)を実施しながら、国体開催に必要な費用を計上していきます。	生涯学習部 国体推進課

中期プラン(素案)への意見等に対する市の考え方(施策番号順)

施策No	会議名	区分	要旨	回答	担当課
4 1 1	総合計画審議会	質問	子育て支援の前段階として、若い男女の出会い創出があると思うが、支援策はどこに記載されているのか。	出会い創出等の結婚活動支援は、人口減少対策の観点からも重要であり、政策4-1施策1(地域づくりへの参加促進)に施策の方向性を示しております。今後人口減少ワーキンググループにおいて、関係団体などの市民の意見を聴きながら事業構築を行ってまいります。	総合政策部 地域づくり課
4 1 2	地域自治推進委員会(花巻)	質問	27コミュニティを単位として地域づくりを行ってきたところであるが、本計画を策定するにあたって、コミュニティはどのように評価されているか。	地域課題の解決等、コミュニティ会議による地域づくりについては一定の成果があったものと評価しておりますが、制度の課題や現状の問題点を洗い出し、必要であれば仕組みを変えるなど、現在検証を行っているところです。	総合政策部 地域づくり課
4 1 2	地域協議会(石鳥谷)	質問	振興センターに配置されている公用車については職員しか運転できないが、どのくらい活用されているのか。ほとんど動いていないのが実態と思う。地域の声の吸い上げや住民との意思疎通についてはコミュニティ会議ががんばっており、職員が車を使って1件ずつ家庭訪問をしているということでもない。また、公用車の予算はコミュニティ会議への交付金に含まれているものかどうか確認したい。	花巻市公用車運行管理規定によれば、公用車の運行は公務遂行のために限られているため、現時点でコミュニティ会議での使用は認めることができないと考えます。	総合政策部 地域づくり課
4 1 2	地域協議会(石鳥谷)	質問	コミュニティへの交付金について、中期プランの期間である平成26年度から平成28年度の間はプランに記載のとおり金額が交付されるということでしょうか。	現在、地域づくり交付金含めた地域づくりの制度の検証を行っているところであり、その中で平成28年度までの間に、交付金の金額、使途等について見直しを行う場合も考えられるので、コミュニティ会議等市民の方々からの意見をお伺いしながら検討します。	総合政策部 地域づくり課
4 1 2	地域協議会(石鳥谷)	質問	中期プランの事業とコミュニティ会議の事業が内容によっては重複するものがあるが、その場合は市とコミュニティが協働で進めるものと考えてよいか。	個別事例に基づき、市でやるもの、コミュニティ会議でやるもの、市とコミュニティ会議が協働でやるものを、これまでどおり市とコミュニティ会議が協議しながら進めます。	総合政策部 地域づくり課
4 1 2	総合計画審議会	質問	地域主体のまちづくりということで19年度からコミュニティ会議が始まったが、地域の防犯・交通など従来の縦系列の連携に加え、各地区の会議という横軸も加わった結果になった。それらをうまく統合する方策はあるか。	防犯、安全協会等各種団体の支部等のコミュニティ会議での位置づけについては、コミュニティ会議ごとに事情が異なることから統一した方針は難しいですが、制度全体の検証の中で、地域課題解決のために連携して取り組む必要があると判断した場合は、関係する市民の方の意見を踏まえたうえで、その仕組み等について検討します。	総合政策部 地域づくり課
4 2 1 4 2 3	市民説明会(花巻)	意見	今後、同様の説明会を開催する場合、各行政区の区長に参加を呼びかけることはできないか。各地区の区長に参加義務を課せば、ある程度の人数は確保できる。ほか、女性の参加が少ない。少子化問題などは男性だけで議論するものではない。	説明会の参加について行政区長に義務を課すことはできませんが、たくさんの方に参加していただくよう開催周知の方法を検討するとともに、女性の参加が少ないことにつきましては、男女共同参画の意識の醸成を図ることにより、様々な場面への女性の参画を促進してまいります。また、市が各種イベント等を実施する際には、女性が参加しやすい配慮を心がけるよう庁内へ周知してまいります。	総合政策部 地域づくり課

中期プラン(素案)への意見等に対する市の考え方(施策番号順)

施策No	会議名	区分	要旨	回答	担当課
4 2 2	市民説明会(石鳥谷)	意見	コミュニティの取り組みについて、市民活動を支援する団体に対する補助金について、上限や補助率を上げることを検討してほしい。補助を申請する団体にはプレゼンテーションによる選考などを求めることも良いと思う。	市では「市民と市との協働指針」に基づき、各課において市民団体等と協働を推進することとしており、各事業内容に適した協働の形態を選択するなかで補助金という形がとられる場合もあります。この場合、独自の補助要綱ないし花巻市補助金交付規則に基づき補助率等の制限があります。 なお、市民団体等の自立支援に関して、スタート時及びステップアップ時のための市民団体等活動支援事業補助金については、補助率2/3、上限30万円と設定しています。ここ数年間の活用状況を見る限り、補助率、上限額、予算額の変更の必要性は感じていないところです。	総合政策部 地域づくり課
4 2 3	地域協議会(石鳥谷)	意見	男女の間、健常者と障がい者之間にある問題には人権意識の欠如に慣れてしまっているところがあると思う。これらを払しょくするような指標を作らないと男女差別や障がい者に対する偏見はなくなる。指標づくりについて検討願う。また、差別や偏見をなくすような啓発事業の展開も必要ではないか。	政策2-5の施策3「障がい者福祉の充実」の中で、「障がい者への理解が進んでいると思う市民の割合」について成果指標としています。 また、複数の障がい者の社会参加促進等に関する事業が当市を会場に開催される予定であり、障がい者への理解を深める機会として周知を図るほか、恒常的な啓発活動にも取り組んでいきます。	健康福祉部 障がい福祉課
4 2 3				政策4-2の施策3「男女共同参画の浸透」の中で、「職場や学校、地域など身のまわりで男女の平等が図られていると感じる市民の割合」について男女平等に関する成果指標を設定しております。また、啓発事業は継続して行っており、プラン上で「啓発」という表記はしていませんが、「男女共同参画に関する情報提供」および「学習講座やワークショップ等の開催」を挙げております。	総合政策部 地域づくり課
5 1 2	地域自治推進委員会(花巻)	意見	職員も市民の一人であることから、市民と同じ目線で対等な考えで行動できる職員の育成を図ってほしい	市民の目線で考え、相手の立場、気持ちや考えを察して行動することはもっとも重要なことであり、そういった視点を忘れずに引き続き、職員の人材育成を進めます。	総合政策部 総務課
5 1 2	郵送 (東和地区市民説明会参加者、秘書政策課受付)	意見	職員は残業ゼロにして、有給休暇を全て取得することを望む。また、教えることや指導すること、躰けること、管理・監督することを辞めるべきである。公務員には考える時間、雑談する時間、失敗する時間が必要であると思う。また、信頼することだと思う。	職員は、地方公務員法をはじめとする関係法令、規則、規程に従い職務を遂行してまいります。	総合政策部 総務課

中期プラン(素案)への意見等に対する市の考え方(施策番号順)

施策No	会議名	区分	要旨	回答	担当課
5 1 4	市民説明会(商工会議所青年部・青年会議所・農協花巻地域青年部)	意見	ILCについて、市としての取り組みを聞きたい。中期プランに掲載されていないのではないか。また、ILC誘致に係って雇用の場の創出など地元企業の活用も考えられるが、市としてILCが東北地方に決定することを前提に早い段階から準備をするべきではないのか。また、教育の観点から、ILCを通じての科学やこどもたちの夢であったり、外国人との対話など、教育の分野でも考えてはどうか。	ILCの建設については、未だ政府が日本および東北への誘致を表明しておらず、まずは広域的な連携により、機運を醸成し政府の決定を促すことが重要であると考えており、政策5-1施策4(2)広域的な連携の推進において、「ILCの誘致に対する協力」として掲げているところであります。ILC誘致は、児童生徒の科学への関心を高めるとともに、キャリア教育の観点からも重要であると考えております。また、国際的な視野をもつことは花巻市の教育指導目標になっていることも含めて、教育分野でも積極的に取り組んでいきたいと考えております。なお、県南広域振興局主催の出前授業が、市内2校の中学校(1校実施済み)、岩手日報社主催のILC授業は、市内3校の中学校で行われました。	総合政策部 秘書政策課
5 2 1	地域自治推進委員会(花巻)	質問	市営住宅の管理が民間に委託されて数年経過したが、民間委託による行政効率はどうなっているか。	市では、市営住宅を含め125施設について指定管理者制度を導入し、施設管理等を行っているほか、民間事業者で実施可能な各種業務についても委託を進めているところであり、民間のノウハウを活用した市民サービスの向上と経費の節減が図られているところであります。今後も行政効率の観点から、効果的な民間委託と併せて、指定管理者制度による施設管理等が可能な施設については、行財政改革の中で積極的に導入を推進していきます。	財務部 財政課
5 2 3	市民説明会(石鳥谷)	質問	新花巻駅前の市有地活用について中期プランへの記載はないが、どのように考えているのか。	現在は駅利用者の利便性向上のため無料駐車場として暫定利用しています。また、土地利用の申出があった場合は、新花巻駅周辺に必要な施設かを総合的に検討し判断します。	財務部 契約管財課
5 2 3	市民説明会(石鳥谷)	質問	石鳥谷駅前にある市有の農業倉庫の活用構想はないか。	市有の農業倉庫は、平成17年に取り壊しをし、現在は「石鳥谷駅前多目的広場」としてゲートボール場と駐車場に活用しており、今後も現状のまま利用いたします。	石鳥谷総合支所 市民サービス課
5 2 3	市民説明会(石鳥谷)	意見	財産評価委員会がなくなってから、お金の使い方に無駄があるように感じる。新花巻駅の階段整備やまん福の取得及び改修工事、総合体育館アネックスの建設、旧空港ターミナルの取得、定住促進住宅、厚生病院跡地など、本当に必要だったのか疑問に感じる。建物は取得費用ばかりでなく維持費用も発生する。人口が減少する中で、費用対効果や将来性も考えて建物の建設や取得を行うべきだと考える。	厳しい財政状況と、今後の人口減少等による利用需要の変化を踏まえ、公共施設等の全体状況を把握し、更新・長寿命化等を計画的に行うことで、財政負担の軽減・平準化と最適且つ効率的な財産管理する計画を策定し、その計画に沿った取り組みを推進いたします。	財務部 契約管財課
5 2 3	市民説明会(大迫)	意見	旭町に空いている教員住宅があるが、車で通う先生が増え住宅の利用が落ちている。子育て夫婦に優遇して貸し出すなど有効活用してはどうか。	未利用となっている建物市有財産について、関係する各部とともに活用策の検討を進めております。	財務部 契約管財課

中期プラン(素案)への意見等に対する市の考え方(施策番号順)

施策No	会議名	区分	要旨	回答	担当課
重点戦略	来庁者 (秘書政策課受付)	意見	重点戦略について、項目を羅列しただけのように感じるが、もっと精選すべきではないか。また、重点戦略として新しい制度の創設をしてほしい。加えて、不足する対策を考える旨と、新制度は市の単独事業で実施することとし、その旨を記載してほしい。	重点戦略は、複数のまちづくりの分野にまたがり、この10年間で戦略的・重点的に取り組むものであり、中期プランの各政策に掲げる「施策の方向」を再掲しております。 また、現在、第6章主要事業計画に反映するため、事業検討を進めているものもありますが、社会状況の変化等によって、事業内容等の見直しや新たな事業の選定を行いますので、具体的な事務事業については、毎年度の予算においてお示しいたします。 なお、制度構築の際には、まずは国県の支援制度を積極的に活用することとしております。	総合政策部 秘書政策課
人口減少対策	地域自治推進委員会(花巻)	意見	少子高齢化についての北上市との比較で、本市のほうが高齢化が進んでおり、子育て支援についても幼児保育がある北上のほうが充実している。子育て施策について、もっと細かな記載があってほしい。	人口減少対策については、中期プランにおいて「重点戦略」の一つのテーマとして掲げており、計画期間内において、戦略的・重点的に取り組むものとしております。 今年6月には、庁内に人口減少対策WGを設置し、現在、「雇用・居住対策」、「子育て支援」、「地域定住支援」の3部会において、来年度以降の事業構築に向けて調査・検討を行っているところです。 なお、人口減少対策に係る具体的な事業内容については、毎年度の予算において示すとともに、HP等により周知を図ってまいります。	総合政策部 秘書政策課
人口減少対策	市民説明会(花巻)	質問	少子化については非常に難しい問題であると思うが、本市においても日本人は10万人を切った。この問題を具体的にどう考えているか。	人口減少対策については、中期プランにおいて「重点戦略」の一つのテーマとして掲げており、計画期間内において、戦略的・重点的に取り組むものとしております。 今年6月には、庁内に人口減少対策ワーキンググループを設置し、現在、「雇用・居住対策」、「子育て支援」、「地域定住支援」の3部会において、来年度以降の事業構築に向けて調査・検討を行っているところです。	総合政策部 秘書政策課
人口減少対策	地域協議会(大迫)	意見	昨年度、長期ビジョン諮問に対する本協議会の答申として、人口増施策の追加を付帯事項とした。今回の中期プランにおいて反映されたことは評価している。	人口減少対策については、中期プランにおいて「重点戦略」の一つのテーマとして掲げており、計画期間内において、戦略的・重点的に取り組むものとしております。 今年6月には、庁内に人口減少対策ワーキンググループを設置し、現在、「雇用・居住対策」、「子育て支援」、「地域定住支援」の3部会において、来年度以降の事業構築に向けて調査・検討を行っているところです。	総合政策部 秘書政策課
人口減少対策	市民説明会(東和)	意見	平地部と中山間地域で分けて人口動態の分析をしてはどうか。人口が減少する中で、中山間地域から平地に人が流れていくという傾向は全国でも花巻でも変わらないと思う。大迫、東和地域では7割、8割の人口減になるのではないかと考えている。	人口減少対策については、今年6月に庁内にワーキンググループを設置し、来年度以降の事業構築に向けて調査・検討を行っているところです。 人口動態については、農村部や中心市街地において、人口減少率や高齢化率が高くなっていることから、地域特性に応じた対策について検討してまいります。	総合政策部 秘書政策課

中期プラン(素案)への意見等に対する市の考え方(施策番号順)

施策No	会議名	区分	要旨	回答	担当課
人口減少対策	来庁者 (秘書政策課受付)	意見	重点戦略の「人口減少対策」について、人口減の受容と人口増に好転させることの意味があいまいであるため、「定住人口確保対策」または「人口増加対策」と変更してはどうか。	少子高齢化により、当面、人口減少は避けられない状況となっておりますが、できる限り人口減少率を縮小するため、「社会人口の増加」と「出生数の増加」を目指し、「人口減少対策」に取り組んでまいります。 なお、重点戦略1の名称「人口減少対策」は現行どおりとしますが、取り組みの方向性について文言を整理します。 (中期修正) 人口減少・少子化に歯止めをかけ、花巻市や花巻市民が将来に向かって元気であり続けるためには、市の未来を担う若者が定住し、安心して子育てできる環境づくりを推進するとともに、住みたい、住み続けたいと感じるような魅力あるまちづくりを進めていく必要があります。 地場産業の育成・支援や企業誘致による安定した雇用の確保を図るとともに、結婚支援や出産・子育て支援の強化、居住対策、地域資源を活かした地域おこし活動に対する支援の充実を図ります。	総合政策部 秘書政策課
人口減少対策	郵送 (石鳥谷地区市民説明会参加者、秘書政策課受付)	意見	紫波町は発展しているとの話があったが同感である。花巻市には閉塞感が漂っているといわれている。市からの若者の流出について、市に魅力がないからだ考える。中学生、高校生が進路や大学や会社などに魅力を感じるまちづくりが求められるのではないかと。誰もが町が発展していると感じられるようにしなければならないと思う。	若い方々が魅力あるまちであると感じていただけるよう、工業団地の整備や企業誘致を通じた雇用の場の確保を図るとともに、賑わいと魅力のある市街地の整備に取り組んでまいります。	総合政策部 秘書政策課
人口減少対策	郵送 (東和地区市民説明会参加者、秘書政策課受付)	質問	東和小学校建設時に人口減が予測されていたとしても、なぜ小学校を作ったのか。しかも東和地域内でも条件の良い水田をつぶして作っている。これについて、東和地域の人口予測を明示して欲しい。もう一つ、東和地域の耕作放棄地の予測についても示してほしい。	耕作放棄地については、今後、農業者の高齢化の進行等により増加することが懸念されることから、その未然防止に努めてまいります。 合併前の東和町において、当時の東和地域6小学校は、少子化により児童数が減少し、将来的にもさらに児童数の減少が見込まれていたこと、多くの学校が老朽化しており、早急に改築する必要があったことから、望ましい学校規模の小学校とするため、6校を1校に統合整備したところです。 また、建設場所については、東和地域全域から児童が集まることから、概ね地域の中心部であること、道路交通の便がよいこと、自然災害の影響を受けにくいこと、学校を整備するために必要な面積を確保できることなどを条件に適地を選定し、地権者の理解を得て、現在地に整備いたしました。 東和地域については、全6コミュニティ地区で人口減少が進んでおり、平成23年と25年との比較では、特に小山田・浮田地区の減少率が高い状況となっております。 なお、地域別の人口予測は行っておりません。	総合政策部 秘書政策課 農林部 農政課 教育部 教育企画課

中期プラン(素案)への意見等に対する市の考え方(施策番号順)

施策No	会議名	区分	要旨	回答	担当課
主要事業計画	地域協議会(大迫)	質問	主要事業が掲載されているが、市長の交代によって変更になった事業等はあるか。	一番大きな変更は重点戦略として人口減少対策を追加したことであり、6月補正予算で追加となった工業団地の調査事業やインフルエンザ予防接種と医療費助成の対象拡大などを掲載しております。 なお、今年6月には、市内に人口減少対策ワーキンググループを設置し、来年度以降の事業構築に向けて検討しているところです。	総合政策部 秘書政策課
主要事業計画	市民説明会(石鳥谷)	質問	投資的経費の中で学校の改築や小中学校の修繕などは一見してわかるが、わからないものもある。どのような部分に充てるか、明らかにはならないか。	投資的経費は政策ごとの主な事業分野への投資見込額を表したもので、経費の詳細を積み上げているものではないため、個々の事業費については、毎年度の予算の段階で広報等においてお知らせしたいと考えております。	財務部 財政課
主要事業計画	郵送 (石鳥谷地区市民説明会参加者、秘書政策課受付)	意見	(参考)主要事業計画のうち投資的経費内訳(再掲)について、事業名や事業費が示されているが具体的にどのように予算が使われるのか不明な箇所もあるように見受けられ、一般市民には理解が困難かと思う。別冊を作成してはどうか。	投資的経費は政策ごとの主な事業分野への投資見込額の累計を表したもので、経費の詳細を積み上げているものではないため、個々の事業費については、予算の段階で広報等においてお知らせしたいと考えております。	総合政策部 秘書政策課 財務部 財政課
財政見直し	地域協議会(石鳥谷)	質問	財政見直しを見ると、今後一般財源は減少していくことになっているが、どのような理由か。	国・県の制度改革の状況、経済情勢、実績推移等に注視し、合理的に歳入を見積もっております。 一般財源の減少は、総額の半分以上を占める地方交付税の縮減が大きな理由となりますが、合併により約20億円の特例措置を受けているものが、合併後10年を経過する平成28年度から段階的に縮減され平成32年度をもって終了することとされています。	財務部 財政課
財政見直し	地域協議会(石鳥谷)	質問	市民から良いアイデアが出てきたときに使うことができる予算は確保されているのか。枠組みにはまっている予算は自由が利かない印象がある。若い人が何かを考えて、実現することができれば若い人もやる気ができるのではないか。	市民からの提言・要望等には耳を傾け、実施事業は毎年度の予算編成の過程の中で、内容・金額等の精査や優先順位の選択を行い、場合によっては見直しを行いながら進めてまいります。	財務部 財政課
財政見直し	来庁者 (秘書政策課受付)	意見	4計画期間中の財政見通しの表について、歳入歳出の均衡を取らずに、素直に示す方が市民には分かりやすい。そのため、歳入額に基金取崩額を計上しないで示してほしい。	中期プランに掲載している事業の実施にあたっての財政的な裏付けを示す意図から歳入歳出の均衡をとっているものです。基金取崩や地方債により収支不足額の財源調整をしております。	財務部 財政課
財政見直し	来庁者 (秘書政策課受付)	意見	4計画期間中の財政見通しの市債残高について、特別会計分もあり、下水道会計の残高も含めれば1,000億円前後あると思われるが、特別会計分も含めた市債の残高を示すべきである。	中期プランに掲載している事業の実施にあたっての財政的な裏付けを示す意図から財政見直しを掲載しているものです。主要事業計画は大部分が一般会計であるため、市債残高も一般会計について示しております。	財務部 財政課

中期プラン(素案)への意見等に対する市の考え方(施策番号順)

施策No	会議名	区分	要旨	回答	担当課
財政見直し	来庁者 (秘書政策課受付)	意見	5計画期間中の収支不足への対応について、市職員給与が市民のそれよりも高いことから、格差是正と財政安定を進めるべきであり、「市職員の給与の引下げ」を記載するべきではないか。	職員の給与は法令による給与決定の原則等により定められ、県内他市と比較しても低い水準にあります。 総人件費という視点から職員定数の削減と適正化に努めてまいります。	総合政策部 総務課
財政見直し	市民説明会(商 工会議所青年 部・青年会議所・ 農協花巻地域青 年部)	意見	4計画期間中の財政見直しにおける歳出の「その他」とは何か。	物件費や補助金・負担金、施設の維持補修費などのことであり、中期プランに「(5)その他」を追加します。 (中期修正) (5)その他 物件費、維持補修費、積立金及び補助金等について、平成26年度の決算見込み額や過去の推移をもとに推計しました。	財務部 財政課
計画全体	地域自治推進委 員会(花巻)	質問	この計画は誰が作ったものか。	長期ビジョンは昨年9月に策定しており、中期プランは現在策定作業を行っております。中期プランについては、現市長の公約等を反映することとしており、今年5月には中期プラン素案を市議会議員に説明しております。	総合政策部 秘書政策課
計画全体	地域自治推進委 員会(花巻)	意見	全体として総花的であり、最重点項目が見つらい。花巻の特色があり、インパクトのある施策を展開してほしい。	まちづくりの総合的な計画として、各分野を網羅した計画であり、総合的にまちづくりを展開していくための基本的な方向性を示したものです。 なお、中期プランには、複数のまちづくりの分野にまたがり、この10年間で戦略的・重点的に取り組むべき4つのテーマを「重点戦略」として位置づけております。	総合政策部 秘書政策課
計画全体	地域協議会(大 迫)	質問	5月の議員説明会における意見はどのようなものがあったか。	総合計画と行政評価との連動、素案のダイジェスト版の作成などについて意見がありました。 なお、市民の皆様から意見を伺うには、計画全体を公表することが適切と考え、ダイジェスト版の作成は見送ったところです。	総合政策部 秘書政策課
計画全体	地域協議会(石 鳥谷)	質問	各コミュニティ会議でもまちづくりの計画を作って、コミュニティ活動を進めているが、中期プランとの関連性はどうか考えればよいか。	各コミュニティ会議で策定した地区ビジョンは、各地区の有する資源の活用や課題の解決について検討し、地区の将来像を掲げたものであり、全市民が各地区の特色を認識しながら、一体となってまちづくりに取り組んでいくことができると考えております。 また、総合計画に掲載することにより、各地区が掲げる課題が明確となり、市は、総合計画の各種施策の中から、その地区の課題解決に向けた施策を効果的に展開したいと考えております。	総合政策部 地域づくり課
計画全体	地域協議会(石 鳥谷)	質問	この説明会を通じて、予算が決まっていくということなのか。すでに26年度は始まっていることから、今出されている意見は実際は27年度、28年度に反映されると考えてよいか。 また、第2期の中期プランは平成29年度になってから話をするということなのか。	中期プランは本来、平成25年度中に完成し、平成26年度から3年間の予算に反映すべきものでありましたが、市長交代による市長公約等の反映により、現在、策定作業を行っているところです。今回、ご意見のあったものについては、中期プランに反映したうえで、予算については平成27年度以降に反映することになります。 また、平成29年度から3年間で期間とする第2期中期プランについては、平成28年度中に策定いたします。	総合政策部 秘書政策課

中期プラン(素案)への意見等に対する市の考え方(施策番号順)

施策No	会議名	区分	要旨	回答	担当課
計画全体	市民説明会(石鳥谷)	質問	長期ビジョンは大石市長の時に策定し、中期プランは上田市長になってから提示されたが、大石市長の考え方を引き継いだ内容か。昨年、組織改編で大石市長は農林水産部を12月議会で廃止し、上田市長は農林部を新たに設置するなど、方針の違いがあるように思うので確認したい。	昨年9月に策定した長期ビジョンについては、市の将来の方向性・あるべき理想の姿を示す指針となるものであり、現時点で改訂することは考えておりません。また、中期プランについては、市長交代による市長公約等の反映により、現在、策定作業を行っているところであり、素案においては、市長公約の一つである人口減少対策について、「重点戦略」として位置づけております。	総合政策部 秘書政策課
計画全体	地域協議会(東和)	質問	中期プランはどの分野に力点を置いているのか。	中期プランには、複数のまちづくりの分野にまたがり、この10年間で戦略的・重点的に取り組むべき4つのテーマを「重点戦略」として設定しており、「人口減少対策」、「市街地の再生」、「交流人口の拡大」、「防災力の強化」を掲げております。	総合政策部 秘書政策課
計画全体	総合計画審議会	意見	本計画に掲げる目指す姿実現のため、市民が果たすべき役割を地域住民に知ってもらうことが大事である。市民の「役所が変わらない」という発言を耳にするが、その発言自体が問題であり、もっと関心を持ってもらうようにしなければならない。	長期ビジョンにおいて、「計画の推進にあたっては、市民と市がともに主体となって、計画に掲げた将来都市像や「目指す姿」を共有し、まちづくりの様々な分野において、各々の役割に応じ、協力・連携していくことが必要」と明記しており、中期プランでは、各政策の実施に当たり、役割分担が期待される市民や企業の取り組みについて記載しております。なお、中期プランについては、様々な機会を通じ、市民への周知を図ってまいります。	総合政策部 秘書政策課
計画全体	来庁者(秘書政策課受付)	意見	汚水の適切な処理の◇主要事業の箇所について、公共下水道事業を掲載するべきではないのか。	公共下水道事業については、一般会計が負担する繰出金を第7章財政見通しの4計画期間中の財政見通しに含めております。	総合政策部 秘書政策課
計画全体	市民説明会(商工会議所青年部・青年会議所・農協花巻地域青年部)	質問	中期プランはどのようにして意見を集めて、それをどのように反映させるのかその流れを知りたい。	5月27日開催の議員説明会を始め、6月には市民アンケートの結果を集計し中期プランの成果指標の現状値として掲載しております。7月からは、各地域での市民説明会や地域協議会、地域自治推進委員会、総合計画審議会を開催し、いただいた意見を各担当課で見直し・検討して、できるだけ早く成案にしようとするものです。	総合政策部 秘書政策課
計画全体	市民説明会(商工会議所青年部・青年会議所・農協花巻地域青年部)	意見	成果指標の設定について、その数値が高いのか低いのか、また、目標値についても同様でありどの程度上昇させることがどれくらい成果があることなのかその程度が市民には分かりづらい。ほか、設定した指標そのものが果たして相応しいものなのか疑問に思う箇所もある。他市との比較等対外的な面もあるうかと思われるがいかがなものか。	PDCAサイクルにより行政評価を行っており、当市においては、政策・施策・事務事業の3階層で成果指標を設定しております。単なる数値の上下だけにならないよう、政策・施策に対する事務事業の貢献度が評価でき、事務事業の改革・改善につながるような成果指標を意識して設定しております。なお、次期中期プラン策定の都度、成果指標についても見直しする予定としております。	総合政策部 秘書政策課
市民説明会	市民説明会(花巻)	意見	今回のような説明会は非常によい機会であるが、参加者が少ない。広報への掲載だけでは不十分であり、もっと多くの市民が参加するよう、周知や開催時間を検討する必要がある。	今回の説明会においても、できるだけ多くの市民が参加できるよう開催手法について検討したところですが、今後も参加者が増えるよう検討してまいります。	総合政策部 秘書政策課

中期プラン(素案)への意見等に対する市の考え方(施策番号順)

施策No	会議名	区分	要旨	回答	担当課
市民説明会	市民説明会(花巻)	意見	開催の周知について、広報の掲載では中身を見ずに破棄されることもあるため、開催案内のチラシを全戸配布してはどうか。	経費や配布の負担を考慮し、できるだけチラシの全戸配布はせず、広報への掲載を行っております。今後も、多くの市民に参加してもらえるよう、見やすい広報誌面の作成に努めるとともに、振興センターだよりやコミュニティFM等を活用し、市民への周知に努めてまいります。	総合政策部 秘書政策課
市民説明会	市民説明会(花巻)	意見	市政懇談会の参加状況を見ても分かるように、いくら周知をしても、市政に関心がなければ参加者は増えない。参加人数が悪い事実を公表してはどうか。	今回の説明会においても、できるだけ多くの市民が参加できるよう開催手法について検討したところですが、今後も参加者が増えるよう検討してまいります。なお、参加人数の公表については、ご意見として賜ります。	総合政策部 秘書政策課
市民説明会	市民説明会(石鳥谷)	意見	説明会の開催日時設定を工夫してはどうか。土日を除くと仕事のある若年層の参加は難しい。今日のように市の職員から直接説明を聞くことで理解も深まると思うので、土日での開催や仕事終わりの後の開催を検討してほしい。	今回の説明会においても、できるだけ多くの市民が参加できるよう開催手法について検討したところですが、今後も参加者が増えるよう検討してまいります。	総合政策部 秘書政策課
周知方法	市民説明会(大迫)	意見	計画が完成した後、市民に普及し内容が浸透することが一番大事である。広報に項目を分けてわかりやすく掲載するなど広くPRすべき。	長期ビジョンでは、「計画の推進にあたっては、市民と市がともに主体となつて、計画に掲げた将来都市像や「目指す姿」を共有し、まちづくりの様々な分野において、各々の役割に応じ、協力・連携していくことが必要」と明記しており、そのためには、ご指摘のとおり、市民への浸透が重要と考えております。計画については、市HPや広報への掲載のほか、様々な機会を通じ、市民への周知を図ってまいります。	総合政策部 秘書政策課
周知方法	市民説明会(大迫)	意見	先日、増田前知事が北上に来たところだが、興味を引く講演会等と併せて本計画を説明してはいかがか。市長自身が人口のテーマで話ができるので、人口減少をふまえたこれからのまちづくりをテーマにしてもよい。	長期ビジョンでは、計画の推進にあたっては、市民と市がともに主体となつて、計画に掲げた将来都市像や目指す姿を共有し、まちづくりの様々な分野において、各々の役割に応じ、協力・連携していくことが必要と明記しており、そのためには、ご指摘のとおり、市民への浸透が重要と考えております。計画については、HPや広報への掲載のほか、様々な機会を通じ、市民への周知を図ってまいります。	総合政策部 秘書政策課
その他	市民説明会(石鳥谷)	質問	国策が変われば、地方もそれに追従するしかないのか。	国の制度を利用できるものは積極的に利用するとともに、市として独自に取り組むが必要な部分についても取り組んでまいります。	総合政策部 秘書政策課
その他	市民説明会(石鳥谷)	意見	紫波町は勢いがある。現状では紫波から石鳥谷に人が来なくなった。オガールプラザの開設など、紫波町は発想力がある。また、石鳥谷の国道バイパス沿いには何も無いが、紫波町はお店などが多い。	他自治体の先進事例も参考にまちづくりに取り組んでまいります。	総合政策部 秘書政策課